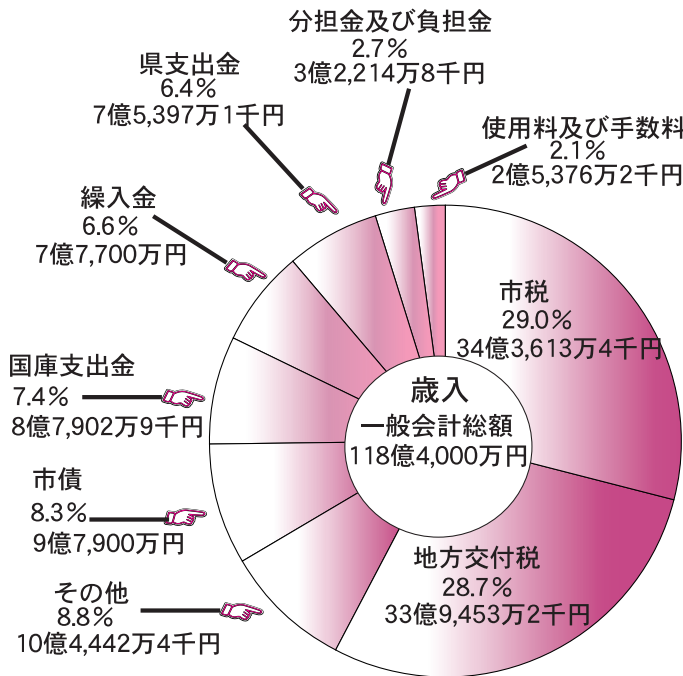


平成17年度全会計予算総額は 262億509万5千円

一般会計予算総額は 118億4,000万円

「市民一人ひとりが主役のまちづくり」

「健康で生きがいのある
市民の暮らしの実現をめざして」



3月定例会市議会において、平成17年度の当初予算案が審議され、一般会計外13特別会計及び水道・病院事業会計の2企業会計の予算が決まりました。地方財政は、引き続き多額の財源不足の状態にあり、これまでの財源不足を地方債の増発や交付税特別会計借入金などによって補い、収支の均衡を図ってきたことによる地方全体での借入金残高は、平成16年度末において205兆円に達する見込みであり、極めて厳しい状況にあります。

このため、地方公共団体は、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政システム確立のため、徹底した行政改革の推進による事務事業の見直しを行い、限られた財源の重点化・効率化を進め、歳出の抑制を図るとともに、歳入の確保策を積極的に講ずるなど、持続可能な財政への転換が急務とされています。また、国においては、国庫補助負担金の廃止・縮減、地方交付税の見直し、税源移譲の三位一体の改革が進められており、地方交付税特別会計借入金振替措置として発行が認められている臨時財政対策債は23・1%の減、地方税が3・1%の増、地方交付税が0・1%の増となり、一般財源総額は0・1%増と前年度並みに確保することとされましたが、本市におきましては、約2億円の一般財源が昨年度より減収する見込みとなっています。

このような中、今年度予算は、国の施策を十分に踏まえ、中・長期的視野に立った健全な財政運営を第一として、「健康で生きがいのある市民の暮らし」の実現を目指し、真に必要なとされている行政サービスを的確に把握し、本市の特色を活かした魅力ある地域社会を形成するため、「市民主体のまちづくり」を柱に、福祉・健康・教育及び環境衛生の推進に重点を置き編成しました。

一般会計

118億4,000万円

一般会計は、基本的な市行政を行うための会計です。

歳入では、全体の29・0%を占める市税が34億3,613万4千円で対前年比2・7%の増、地方交付税は、28・7%を占め33億9,453万2千円で対前年比8・2%の減となっています。

歳出では、総務費が12億2,587万7千円で対前年比2・7%の増、民生費が25億9,197万2千円で対前年比3・9%の増、衛生費が対前年比17・7%の増、商工費が0・2%の減、農林水産業費は対前年比21・4%の増、公債費は、19億4,685万4千円で対前年比20・6%の減となっています。

特別会計

111億1,611万8千円

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理する会計で、事業収入のほか、国・県支出金や一般会計からの繰入金などを主な財源としています。次の13会計があります。

企業会計

32億4,897万7千円

会計処理には企業会計の原則が適用され独立採算制で行っています。

- 水道事業 4億7,271万7千円
- 病院事業 27億7,626万円

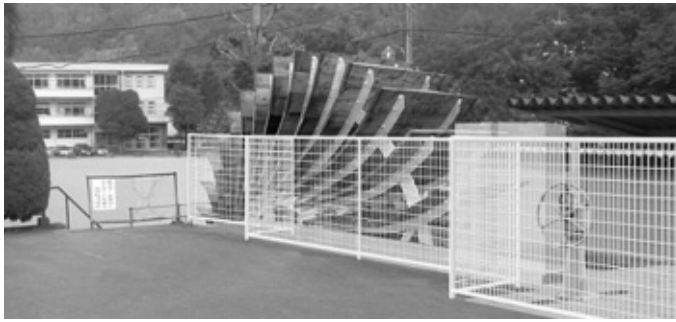
わかりにくい用語の説明

歳入

※地方交付税
市がその創意と責任において、地域住民の福祉の向上のために必要な財源を、国がある一定のルールに基づいて交付し、使い道が特定されないもの。

※国庫支出金
市が支出する経費について、国が負担交付・補助するもので、使い道が特定されているもの。

※市債
市が事業を行う際、一時的に多くの費用が必要とされるとき、これを国などから借り入れ、将来にわたり税金などをもって返済していくもの。



整備が予定されている家中川小水力市民発電所(市役所庁舎前)

平成17年度の主な事業

新規事業は文字が赤色

※※※「健康でいきいきと暮らせる長寿の地域社会」※※※

エンゼルプラン推進事業	984万4千円
おでかけ元気促進事業	100万円
乳幼児健康支援一時預り事業	282万2千円
はつらつ湯友促進事業	100万円
(芭蕉月待ちの湯での入浴指導など)	

※※※「自己実現を支援する文化・学習・スポーツ」※※※

小中学校IT環境整備事業	1,530万3千円
学生アシスタント・ティーチャー事業	167万5千円
勝山城跡学術調査事業(17~21年度)	479万8千円
スポーツ拠点づくり推進事業	1,100万円
(ジュニアグラススキー全国大会実施)	

※※※※※「新しい時代を支える社会基盤」※※※※※

道路橋梁維持・新設改良事業	2億1,713万4千円
都留インターチェンジフルインター化事業	1億610万6千円
狭あい道路整備事業	50万円

※※※※「時代の変化に即した地域産業の振興」※※※※

戸沢和みの里周辺整備事業	2億305万4千円
(直売所・体験施設整備工事など15~17年度)	
松くい虫被害緊急対策事業(16~17年度)	9,435万1千円
商店街未来創造支援事業	54万円
(空き店舗賃借料助成事業など)	

特産品開発事業 50万円

※※※「快適な自然と共生するゆとりの生活環境」※※※

ウォーキングトレイル事業	8,883万6千円
(ユニバーサルデザイン概念取り込み)	
地域防災リーダー養成事業	22万4千円
家中川小水力市民発電所建設事業	3,216万9千円
火葬場施設整備事業(17~18年度)	2億165万5千円

※※※※※「交流をさかんにするネットワーク」※※※※※

青少年ふれあい交流事業(沖縄県西原町受け入れ)	50万円
地域イントラネット管理事業	1,611万2千円

※※※※※「新しい時代を創る多彩な市民」※※※※※

NPO法人設立支援事業	15万円
市民活動推進事業	426万2千円
(ハートフルネット都留システム運用など)	
協働のまちづくり事業	313万7千円
(新たに宝・盛里・開地地区に推進会設置など)	

※※※※※「未来を拓く行財政運営」※※※※※

行政サービス向上事業	38万6千円
(行政評価システム実施など)	

新長期総合計画策定 362万6千円

個人情報保護推進事業(平成17年4月より法施行) 12万円

わかりにくい用語の説明

歳出

※総務費

一般的な管理事務経費で、戸籍・選挙・徴税・統計に関する経費など。

※民生費

高齢者や障害者の福祉、保育に関する経費など。

※衛生費

病気の予防や健康相談、ゴミ処理や清掃に関する経費など。

※公債費

以前に借り入れた市債などの元金・利子を償還する経費。

その他 3.7%

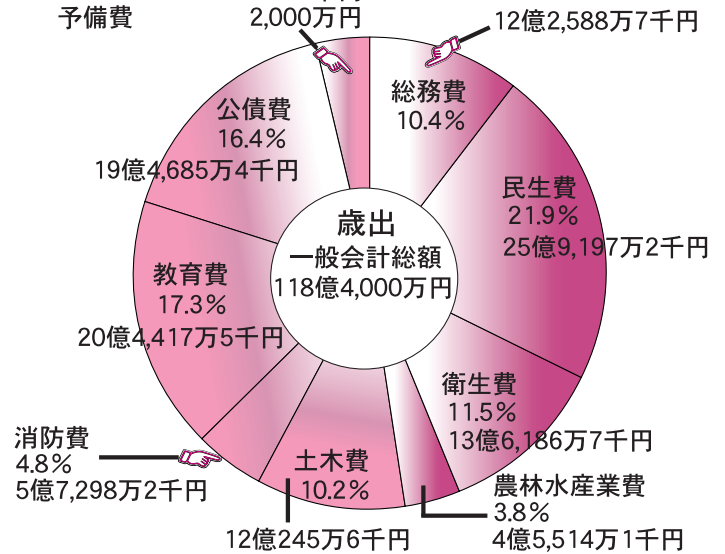
議会費 1億7,515万5千円

商工費 2億4,320万6千円

諸支出金 30万2千円

災害復旧費 3千円

予備費 2,000万円



市民一人当たりに使われるお金

【一般会計当初予算額÷平成17年3月1日現在の人口33,481人】

議会費	5,232円	土木費	35,915円
総務費	36,614円	消防費	17,114円
民生費	77,416円	教育費	61,055円
衛生費	40,676円	公債費	58,148円
農林水産業費	13,594円	その他	606円
商工費	7,264円	合計	353,634円

各会計別当初予算額の推移

